

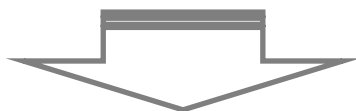
## 第 6 期計画の実績・評価

## 第 1 章 介護予防と生活支援サービスの充実

## 介護予防・生活支援サービスの実施（第 6 期計画 P 23）

## 【計画内容】

- 地域の実情に応じて、既存の介護事業所に加え、住民などの多様な主体の参画による多様な介護予防・生活支援サービスの充実を目指す国の方針を踏まえ、市内関係者による協議体を組織し、既存の介護給付事業や介護予防事業などを基に、滝川市における訪問型サービス、通所型サービス、生活支援サービスのサービス類型や内容について検討するとともに、国のサービスに関する基準や単価の考え方を踏まえ介護予防・生活支援サービス事業実施要綱を作成し、平成 29 年 4 月までのできるだけ早い時期に介護予防・生活支援サービス事業を実施します。



## 【事業実績】

- 「滝川市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱」を制定の上、平成 28 年 3 月 1 日より事業を実施した。
- サービスの内訳

## 【給付に係るサービス】（平成 28 年 3 月～29 年 2 月分）

| 事業名             | 件数      | 給付費          |
|-----------------|---------|--------------|
| 滝川市訪問介護相当サービス事業 | 1,782 件 | 29,812,266 円 |
| 滝川市通所介護相当サービス事業 | 2,943 件 | 89,933,727 円 |
| 高額介護予防サービス費相当事業 | 65 件    | 130,085 円    |

## 【給付以外のサービス】（平成 28 年 4 月～29 年 3 月分）

| 事業名                | 延参加者数   | 委託料         |
|--------------------|---------|-------------|
| 滝川市通所型サービス A（温泉教室） | 1,826 人 | 7,103,160 円 |

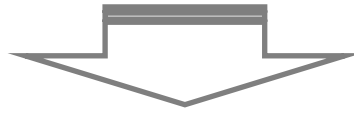
## 【課題等】

- 住民主体の多様な訪問型・通所型サービス及び生活支援サービスについては、今後必要に応じて検討を要する。特に平成 28 年 11 月に立ち上げた生活支援体制整備事業における協議体（現時点は「地域支え合い体制づくりを考える研究会」）における地域の実情に応じた検討を推進する。

## 介護予防ケアマネジメントの実施（第 6 期計画 P 23）

## 【計画内容】

- 窓口での相談や介護予防事業へ参加された要支援者に相当する状態の方（介護予防・生活支援サービス事業対象者）に対し、基本チェックリストを用いて介護予防ケアマネジメントを実施し、訪問型サービス、通所型サービス、生活支援サービスなど必要なサービスを提供します。



### 【事業実績】

○平成 28 年 3 月 1 日に移行した「滝川市介護予防・日常生活支援総合事業」の実施により、基本チェックリストを用いた介護予防ケアマネジメントを実施した。

| 類型         | 平成 28 年度 |
|------------|----------|
| ケアマネジメント A | 2, 973 件 |
| ケアマネジメント B | 659 件    |
| ケアマネジメント C | 0 件      |

※「ケアマネジメント A」とは：

基本チェックリストを用いて「アセスメント→介護予防ケアマネジメント（計画）作成→サービス担当者会議→モニタリング・評価→再アセスメントに基づくケアプラン作成」という従来どおりの介護予防支援と同様の支援

※「ケアマネジメント B」とは：

事業対象者の方のうち通所型サービス A（温泉教室）のみを利用する方について実施。ケアマネジメント A の支援のうちサービス担当者会議とモニタリング・評価を省略し簡易のケアマネジメント（計画）を作成する支援

※「ケアマネジメント C」とは：

最も簡易なケアマネジメント（計画）を作成する支援。本市においては現時点において、このケアマネジメント C により提供に結び付ける介護サービスはなし。基本的にサービス利用開始時にアセスメントのみ行うケアマネジメント

○必要に応じて「興味関心チェックシート」の活用により本人の意欲を引き出せるような目標設定を行った。

### 【課題等】

○窓口で全ての方に基本チェックリストを実施するのではなく、従前どおり介護保険サービスを利用される方には介護認定の申請を受けていただきますが、介護認定と基本チェックリストによる認定のどちらが適しているかの判断について、引き続き検討する。

## 介護予防事業の実施（第 6 期計画 P 24）

### 【事業概要】

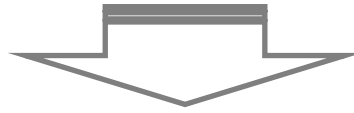
○65 歳以上の要介護認定を受けていない二次予防事業対象者となる高齢者を対象に、滝川ふれ愛の里において、通所介護予防事業として温泉教室を実施し、週 1 回、入浴・血圧測定・健康チェック・百歳体操・ミニ講座（栄養・歯科・転倒防止等）のほか、年 4 ～ 6 回程度食事も含めた季節の行事を実施しています。

参加者の多くは継続参加し、要支援者とあまり差のない参加者もあり、介護予防の習慣化、要介護認定への移行防止に役立っています。

### 【計画内容】

○「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」の内容が構築されるまでの間、従来の「介護予防事業」として実施します。

閉じこもりや介護予防のため、週 1 回の有効な外出機会として、通所による運動機能の向上、栄養改善、口腔機能の向上、参加者の交流促進を図ります。



## 【事業実績】

○平成 28 年 3 月 1 日に移行した「滝川市介護予防・日常生活支援総合事業」の実施により、従来の「介護予防事業」から「滝川市通所型サービス A（温泉教室）」へ移行した。

### ■通所型サービス A（温泉教室）

温泉教室参加数

|    | 平成 26 年度 |         | 平成 27 年度 |         | 平成 28 年度 |         |
|----|----------|---------|----------|---------|----------|---------|
| 回数 | 105 回    |         | 105 回    |         | 120 回    |         |
| 人数 | 実人数      | 延人数     | 実人数      | 延人数     | 実人数      | 延人数     |
|    | 71 人     | 1,776 人 | 67 人     | 1,774 人 | 69 人     | 1,826 人 |

講座実施状況

|         | 平成 26 年度 |       | 平成 27 年度 |       | 平成 28 年度 |      |
|---------|----------|-------|----------|-------|----------|------|
|         | 回数       | 延人数   | 回数       | 延人数   | 回数       | 延人数  |
| 介護予防講座  | 6 回      | 103 人 | 6 回      | 102 人 | 6 回      | 94 人 |
| 栄養講座    | 6 回      | 111 人 | 6 回      | 102 人 | 6 回      | 96 人 |
| 歯科講座    | 6 回      | 97 人  | 6 回      | 99 人  | 6 回      | 93 人 |
| 温泉講座    | 3 回      | 51 人  | 3 回      | 54 人  | 3 回      | 41 人 |
| 屋外活動    | 6 回      | 89 人  | 6 回      | 93 人  | 6 回      | 87 人 |
| 行事（1 日） | 9 回      | 136 人 | 9 回      | 133 人 | 3 回      | 46 人 |

## 【課題等】

○一度通うと継続される方が多いことから、通所開始時のケア計画から目標を明確にし、地域での他の外出機会等を見つけ卒業する体制作りを目指すなど事業の見直しについて検討する。

## 介護予防把握事業（第 6 期計画 P 24）

### 【事業概要】

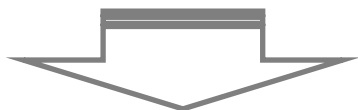
○保健・医療・福祉の関係部門と連携し、次のような機会を活用して、基本チェックリストを用いて介護予防が必要と思われる高齢者の健康状態などを把握し、地域体操教室や温泉教室、歯科検診・相談、栄養相談や料理教室の紹介などを行っています。

- ・75 歳以上で介護サービスを利用していない在宅高齢者の訪問調査（毎年調査対象地区を設定し計画的に実施）
- ・介護予防講座や温泉健康セミナーなどの参加者
- ・本人や家族からの窓口や電話での相談
- ・主治医や民生委員など関係機関や地域からの提供情報
- ・要介護認定における非該当者の情報

### 【計画内容】

○介護予防が必要と思われる高齢者の実態を把握するために、引き続き、関係機関等と連

携し、あらゆる機会を通じて情報収集に努めるとともに、把握した情報を介護予防事業への参加指導のほか、介護予防講座の内容など介護予防事業の企画に活用します。



### 【事業実績】

○満75歳以上で介護サービスを利用していない在宅高齢者等に基本チェックリストにより虚弱状態等の把握を実施した。

|              | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|--------------|--------|--------|--------|
| 基本チェックリスト実施数 | 1,345人 | 1,355人 | 1,217人 |
| うち介護予防必要高齢者数 | 247人   | 497人   | 521人   |

※介護予防が必要と認められた方には、通所型サービスA（温泉教室）、地域体操教室等を紹介した。

### 【課題等】

- 介護予防が必要と認められた方のうち4割が閉じこもりに該当しているが、閉じこもりは高齢者の寝たきりを引き起こす原因と位置付けられていることから、今後、外出頻度等についても調査を行う。
- 調査員の調査だけで全てを把握するのは限界があることから、地域の見守り強化など、早期把握・対応について検討を要する。

## 介護予防講座（第6期計画P25）

### 【事業概要】

○介護予防に関する知識や情報を提供し、日常生活の機能向上、介護予防意識の向上を図るため、65歳以上の高齢者を対象に、介護予防講座を実施しています。

### 【計画内容】

○より一層の市民の介護予防意識の向上を図るため、多くの市民が参加しやすいように、小学校区単位で開催するほか、町内会など地域と調整し、地域が求めるテーマ（認知症予防、認知症サポーター養成、介護保険制度の理解、膝痛や転倒予防等の知識講座など）の設定や、百歳体操と組み合わせて開催するなど、実施効果と魅力アップに努めます。また、民間の運動教室と連携し、その健康づくりや運動指導のノウハウを生かし、運動による健康づくりが継続されるように、介護予防講座の充実を図ります。



### 【事業実績】

○次のとおり介護予防講座を開催した。

#### ■市主催の地域介護予防講座

|           | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 開催回数      | 5回     | 9回     | 13回    |
| 再掲) 口腔ケア  | 0回     | 1回     | 4回     |
| 再掲) 低栄養予防 | 1回     | 2回     | 4回     |

|              |     |     |     |
|--------------|-----|-----|-----|
| 再掲) 膝痛・転倒予防  | 2 回 | 1 回 | 1 回 |
| 再掲) 運動指導他    | 2 回 | 1 回 | 1 回 |
| 再掲) 認知症サポーター | 0 回 | 5 回 | 3 回 |

※老人クラブにおける口腔ケア教室は P 7 高齢者口腔ケア教室を参照

- 町内会他団体からの依頼により実施した高齢者対象の介護予防・健康講話  
(保健師・歯科衛生士・栄養士・作業療法士)

|       | 平成 2 6 年度 | 平成 2 7 年度 | 平成 2 8 年度 |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 開催回数  | 8 回       | 1 2 回     | 1 3 回     |
| 延参加者数 | 2 2 3 人   | 3 5 1 人   | 3 1 2 人   |

- 運動チャレンジ教室

|      | 平成 2 6 年度 | 平成 2 7 年度 | 平成 2 8 年度 |
|------|-----------|-----------|-----------|
| 実施回数 | 2 2 回     | 2 4 回     | 2 4 回     |
| 実人数  | 3 1 人     | 2 8 人     | 2 8 人     |
| 延べ人数 | 2 5 9 人   | 2 5 7 人   | 2 8 6 人   |

#### 【課題等】

- 地域に合わせた企画が必要となるため、地域の課題や地域住民との話し合いなど、企画に時間を要することが多く、また、介護予防や地域課題について、町内会・老人クラブとの連携などもますます必要である。

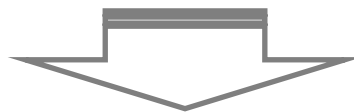
### 温泉健康セミナー（第 6 期計画 P 25）

#### 【事業概要】

- 閉じこもり予防と入浴等で健康を維持するため、65 歳以上の高齢者を対象に、滝川ふれ愛の里において、健康セミナーを実施しています。

#### 【計画内容】

- 高齢者の外出機会として有効な取組であり、セミナーを継続します。



#### 【事業実績】

- 次のとおり温泉健康セミナーを開催した。

##### ■温泉健康セミナー

|       | 平成 2 6 年度 | 平成 2 7 年度 | 平成 2 8 年度 |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 開催回数  | 4 回       | 4 回       | 3 回       |
| 延参加者数 | 75 人      | 85 人      | 54 人      |
| ※健康相談 | —         | 6 回       | 6 回       |

※健康相談は、中央老人福祉センター相談員（看護師）による血圧測定

※市内巡回バス（ふれ愛の里の事業）

毎週火曜日に、ふれ愛の里のバスが料金は無料で江部乙・東滝川等市内 11 カ所を 1 日 1 往復巡回しており、高齢者が毎週 25～40 人利用している。

## ■ 内容

|     | 月    | テーマ        | 講師                  | 参加者  |
|-----|------|------------|---------------------|------|
| H26 | 5 月  | 下肢を強くしよう   | 溪仁会円山クリニック健康運動指導士   | 26 人 |
|     | 6 月  | 湯ったりウォーキング | 保健センター 保健師          | 14 人 |
|     | 7 月  | 温泉効果と運動    | 健康保養ネットワーク 福岡永告子氏   | 18 人 |
|     | 9 月  | 健脚教室       | 滝川スポーツクラブサンテ健康運動指導士 | 17 人 |
| H27 | 5 月  | 下肢を強くしよう   | 溪仁会円山クリニック健康運動指導士   | 24 人 |
|     | 8 月  | 温泉効果と運動    | 健康保養ネットワーク 福岡永告子氏   | 17 人 |
|     | 10 月 | いきいき百歳体操   | 保健センター 作業療法士        | 14 人 |
|     | 2 月  | 低栄養講座      | 保健センター 栄養士          | 30 人 |
| H28 | 6 月  | 下肢を強くしよう   | 溪仁会円山クリニック健康運動指導士   | 20 人 |
|     | 10 月 | いきいき百歳体操   | 保健センター 作業療法士        | 16 人 |
|     | 2 月  | 低栄養講座      | 保健センター 栄養士          | 18 人 |

### 【課題等】

○参加者の平均年齢が高くなり、75 歳以上の高齢者の利用も増えていることから、年齢層に合わせた健康維持のための支援について検討する。

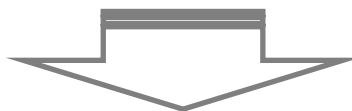
## 料理作りのつどい（第 6 期計画 P 25）

### 【事業概要】

○低栄養状態の予防、自立した日常生活を推進するため、65 歳以上の高齢者を対象に、滝川市食生活改善推進協議会と連携し、「料理作りのつどい」を実施しています。

### 【計画内容】

○多くの市民が参加しやすいように地域別の「地域料理教室」を開催し充実するとともに、地域の食生活改善推進員の協力を得て、特に一人暮らしの男性高齢者など対象者の掘り起しを行うなど、地域の主体的な取組になるように推進します。



### 【事業実績】

○次のとおり地域料理教室を開催した。

#### ■ 低栄養予防のためのバランスの良い食事を学ぶ料理教室

|       | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
|-------|----------|----------|----------|
| 開催回数  | 12 回     | 12 回     | 12 回     |
| 延参加者数 | 139 人    | 191 人    | 186 人    |

### 【課題等】

○一人暮らしの高齢者が増加する中、共食の機会が少なくなっており、また、低栄養の可

能性のある高齢者が約 11%と考えられることから、バランスの良い料理の学習や参加者同士の交流はもとより、献立作成、買い物、調理による脳の活性化を期待した料理教室や、男性が参加しやすい料理教室の検討のほか、毎日 10 品目の食品群を摂取することを目指した「テイク 10」の実践者拡大など、今後の事業の進め方について検討を要する。

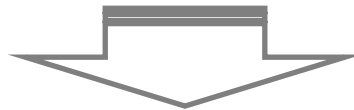
### 高齢者巡回口腔ケア教室（第 6 期計画 P 26）

#### 【事業概要】

○健康維持と介護予防において重要な口腔機能を低下させないために、市内老人クラブ等を年 1 回巡回し、口腔内観察、健康講話、口腔ケアの実践などを行っています。

#### 【計画内容】

○口腔ケアが重要であることの普及啓発に努め、適切な口腔ケアの習慣づけ、歯周病・根面虫歯の予防を図ります。



#### 【事業実績】

○次のとおり高齢者口腔ケア教室を開催した。

|        | 平成 2 6 年度                                                                                                  | 平成 2 7 年度                                                                                                   | 平成 2 8 年度                                                                 |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 開催回数   | 2 2 回                                                                                                      | 2 5 回                                                                                                       | 2 5 回                                                                     |
| 参加者数   | 3 0 6 人                                                                                                    | 3 5 9 人                                                                                                     | 3 9 7 人                                                                   |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・咀嚼判定ガムを活用した衛生講話</li> <li>よくかんで食べる事について</li> <li>・パタカラ体操</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お口の元気度チェック</li> <li>口の機能を評価</li> <li>・お口の機能を向上するための方法を紹介</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポンジブラシを活用した口腔ケアの紹介と実践</li> </ul> |

#### 【課題等】

○歯や口については問題意識が低く、拒否反応も強いことから、口の機能を評価することや肺炎の予防といった切り口による繰り返しの啓発や、さらにはオーラルフレイルの予防といった新たな視点も取り入れながら、より一層の啓発普及を要する。  
○自身のことのみではなく介護する側になった場合や災害等緊急時の口腔ケアの啓発についても普及を要する。

### 地域体操教室（第 6 期計画 P 26）

#### 【事業概要】

○介護予防の普及を図るため、「いきいき百歳体操サポーター養成講座」を修了したサポーター（ボランティア）が中心となり、町内会などと協力し「いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操」を運営実施しています。

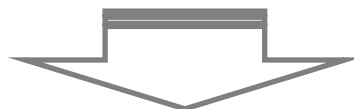
#### 【計画内容】

○地域体操教室は、参加者同士で交流しながら、集団での運動を通じて介護予防と健康づ

くりの効果を高める有効な取組であり、引き続き各地域のサポーターと連携し、参加者の拡大に努めます。

また、これまで未実施の花月町、大町、黄金町西、二の坂町、朝日町東、一の坂町東の各地区や、開催箇所の少ない江部乙地区での開催を働きかけ、25か所を目標に開催地区を拡大するとともに、認知症予防メニュー（歩行、人と会う、対話、音読等）も併せて実施し、実施効果を高めます。

各開催地区のネットワークの充実と技術向上を図るため、引き続き百歳体操交流大会を年1回開催します。



## 【事業実績】

### ■地域体操教室「いきいき百歳体操」

|          |                       | 平成26年度        | 平成27年度        | 平成28年度         |
|----------|-----------------------|---------------|---------------|----------------|
| 総地区数     |                       | 18会場          | 21会場          | 23会場           |
| 年間延べ実施回数 |                       | 818回          | 924回          | 1,009回         |
| 参加者      | 実人数(A)                | 543人          | 572人          | 628人           |
|          | 延人数                   | 10,896人       | 12,604人       | 13,682人        |
| サポーター    | 活動実人数<br>(うち65歳以上(B)) | 100人<br>(82人) | 102人<br>(85人) | 129人<br>(107人) |
|          | 活動延べ人数                | 3,197人        | 3,649人        | 4,117人         |

※H26～28：8か所増（幸町、江陵団地、緑町、みずほ団地、朝日町西、一の坂西、有明町、ふれ愛の里）

|                                       | 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度  |
|---------------------------------------|---------|---------|---------|
| 65歳以上高齢者数 (C)                         | 13,098人 | 13,429人 | 13,675人 |
| 要介護認定者数 (D)                           | 2,275人  | 2,389人  | 2,482人  |
| 要介護認定を受けていない高齢者数<br>(E (C-D))         | 10,823人 | 11,040人 | 11,193人 |
| 65歳以上高齢者の参加率<br>( (A+B) / (C) × 100 ) | 4.8%    | 4.9%    | 5.4%    |

※D：H26・H27（年度末データ）、H28（H29.1月のデータ）

### ■いきいき百歳体操交流大会

|     | 参加者数           | 内容                                                                 | 講師                      |
|-----|----------------|--------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| H26 | 258人<br>(他市含む) | (全道いきいき百歳体操交流大会 in 滝川)<br>90歳以上表彰者：16人<br>講話：いきいき百歳体操の効果と全国<br>の取組 | 高知市高齢者支援課<br>小川佐知氏      |
| H27 | 208人           | 90歳以上表彰者：12人<br>講話：食べて、しゃべって、笑える老<br>後のために                         | 札幌西円山病院<br>藤本篤士氏        |
| H28 | 247人           | 90歳以上表彰者：8人（新規参加のみ）<br>講話：認知症予防と運動について                             | 国立長寿医療研究セン<br>ター 牧迫飛雄馬氏 |



## ■認知症の予防メニューの紹介

毎年、年2回実施のサポータースキルアップ講座や勉強会にて、認知機能の低下に関する研究内容についての情報提供や、認知機能の予防に関するメニューの紹介などを行い、サポーターが各会場で工夫して実施した。

## ■滝川警察署との連携

滝川警察署と連携し、いきいき百歳体操実施の全会場において、生活安全課長による「特殊詐欺防止」講話を実施した。

|              | 平成27年度 | 平成28年度 |
|--------------|--------|--------|
| 特殊詐欺防止講話 実施数 | 19会場   | 22会場   |

## ■滝川高等看護学院の授業

滝川高等看護学院1年生の老年看護学Ⅲの授業として、「いきいき百歳体操」の参加と、高齢者との面接実習を実施した。

|        | 平成27年度 | 平成28年度 |
|--------|--------|--------|
| 実施回数   | 2回     | 2回     |
| 延参加学生数 | 20人    | 25人    |

## ■厚生労働省との連携

厚生労働省の地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業の広域アドバイザー及び作業療法士として健康づくり課職員が委嘱され、全国における市町村支援を実施した。

|               | 平成26年度 | 平成27年度  | 平成28年度  |
|---------------|--------|---------|---------|
| 支援自治体数        | 1（青森県） | 3（北海道内） | 4（北海道内） |
| アドバイザー会議・現地指導 | 5回     | 7回      | 4回      |
| 他市町村からの視察受入れ  | 2回     | 8回      | 4回      |

## 【課題等】

- 高齢者が歩いて行ける会場が近くにないなど未実施の地域があることから、今後も地域と連携して会場数の増加を図る。
- 地域体操教室において支えあい・いきいきポイントを実施することで、さらなる介護予防を推進する。

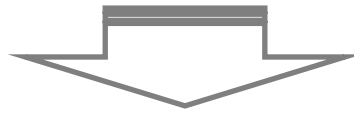
## いきいき百歳体操サポーター養成講座（第6期計画P27）

### 【事業概要】

- 地域体操教室の運営を行う「いきいき百歳体操サポーター」を養成するため、介護予防の知識向上や体操の実技などの研修を行う養成講座を実施しています。
- また、サポーターのレベルアップを図るため、スキルアップ研修を行っているほか、市内介護事業所職員を対象に、関係機関での運動メニューの拡大と、百歳体操参加者が介護サービス利用後も運動を継続できるように、関係機関からの要請を受けて隔年で事業所研修会を実施しています。

### 【計画内容】

- サポーター養成講座、サポータースキルアップ研修、介護事業所職員研修会を実施し、いきいき百歳体操サポーターを充実します。特に、地域体操教室の開催地区拡大の取組を踏まえ、サポーター養成講座延修了者数 250 人、サポーター50 人増を目指します。



## 【事業実績】

- 地域体操教室の主体的な運営のため、介護予防知識の講座や体操の実技などの研修を実施し、体操サポーターを養成した。

### ■いきいき百歳体操サポーター養成講座修了者数（市民）

|           | 平成 2 6 年度 | 平成 2 7 年度 | 平成 2 8 年度 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 講座開催回数    | 3 回（9 日間） | 2 回（6 日間） | 2 回（6 日間） |
| 参加者実数     | 28 人      | 12 人      | 26 人      |
| 延総数(H18～) | 180 人     | 192 人     | 218 人     |

### ■サポータースキルアップ講座・情報交換会

|       | 平成 2 6 年度 | 平成 2 7 年度 | 平成 2 8 年度 |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 開催回数  | 3 回       | 3 回       | 3 回       |
| 延参加者数 | 140 人     | 104 人     | 110 人     |

#### ※内容

H26：体操内容の確認、地域介護予防講座（認知症サポーター講座）

H27：地域介護予防講座の PR（口腔ケア）、認知機能低下予防（コグニサイズ）

H28：支えあい・いきいいポイント、認知機能低下予防（しゃきしゃき百歳体操紹介）

### ■介護保険事業所におけるいきいき百歳体操

平成 1 9 年より地域におけるいきいき百歳体操の展開と同時に、高齢者が要介護認定を受けても運動を継続できる場として、介護保険事業所を会場としたいきいき百歳体操を実施しており、介護保険事業所職員向けに研修を実施した。

#### ・介護保険事業所職員のいきいき百歳体操サポーター養成講座修了者数

|       | 平成 2 6 年度 | 平成 2 7 年度 | 平成 2 8 年度 |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 参加実人数 | 1 4 人     | 6 人       | 3 人       |
| 延総数   | 8 1 人     | 8 7 人     | 9 0 人     |

#### ・事業所のいきいき百歳体操実施数

|             | 平成 2 6 年度       | 平成 2 7 年度       | 平成 2 8 年度       |
|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 実施事業所数      | 4 事業所<br>(延 11) | 2 事業所<br>(延 13) | 1 事業所<br>(延 14) |
| 参加実人数       | 3 0 1 人         | —               | —               |
| うち要支援・要介護   | 2 4 6 人         | —               | —               |
| うち要支援・要介護なし | 5 5 人           | —               | —               |

・介護福祉医療職員対象実践報告会（平成 27 年 7 月実施）

参加事業所 12 事業所

参加者 31 名

実践報告 グループホームともだちの家の取り組み 他

#### 【課題等】

○平成 17 年度から、年 2～3 回実施した「いきいき百歳体操サポーター養成講座」は、平成 28 年度末で 23 回目の実施となり、これまでに講座を修了した市民は 218 人、事業所は職員 90 人となった。

今後も介護予防に効果的かつ地域づくりにつながる活動を支える「いきいき百歳体操サポーター」の育成を積極的に取り組むことにより、本市における介護予防活動の推進を図る。

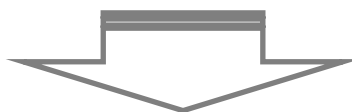
### 生きがいと健康づくり事業（老人クラブによる地域活動支援）（第 6 期計画 P 28）

#### 【事業概要】

○高齢者の外出機会の拡大と社会参加活動を促進し、高齢者の生きがいづくりと健康の維持・増進に資するため、老人クラブが行う道路や公園、公共施設等の花壇づくりや草刈り、清掃等の環境整備活動に対し支援しています。

#### 【計画内容】

○町内会や民生委員の連携・協力を得て、参加クラブの拡大に向け事業を推進します。



#### 【事業実績】

○次のとおり生きがいと健康づくり事業を実施した。

|        | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
|--------|----------|----------|----------|
| 参加クラブ数 | 17       | 15       | 15       |

#### 【課題等】

○参加クラブ数はここ数年 15 クラブで維持しているものの、5 年前と比較すると減少化傾向にあり、会員数も減少している。花壇づくり等の社会貢献や軽度の作業が身体機能の低下や介護予防につながることから、単位老人クラブだけでなく町内会や民生委員にも御協力いただくなど、老人クラブへの参加推進のための検討を要する。

### 自立支援短期宿泊事業（第 6 期計画 P 28）

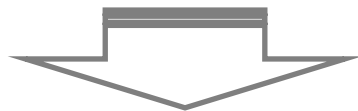
#### 【事業概要】

○65 歳以上の要支援、要介護認定を受けていない高齢者で、生活の改善や体調の調整のため一時的に施設入所が必要な方に対し、短期間（最大 7 日間）の施設入所を支援しています。

#### 【計画内容】

○家族の負担軽減や緊急時における一時的な施設入所の対応が必要な方にサービスが提供

できるよう、二次予防事業対象者や民生委員、町内会などへの周知に努めます。



#### 【事業実績】

##### ■ 自立支援短期宿泊事業利用状況

平成 26 年度～平成 28 年度は実施対象なし

#### 【課題等】

- 家族の負担軽減や緊急時における一時的な施設入所の対応が必要な方にサービスが提供できるよう、民生委員、町内会等の関係者との連携強化を図るとともに、より一層の P R を要する。
- 事業内容の見直し・事業の必要性の検討を要する。

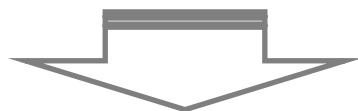
### 自立支援指導員派遣事業（第 6 期計画 P 28）

#### 【事業概要】

- 65 歳以上の要支援、要介護認定を受けていない高齢者で、退院後の生活支援、要介護認定の判定待ち期間の生活支援などで日常生活の支援・指導が必要な方に対し、週 2 時間、原則 1 か月間以内の範囲で、生活管理指導員（ホームヘルパー）の派遣を支援しています。

#### 【計画内容】

退院後の生活支援、要介護認定の判定待ち期間の生活支援など、一時的な疾患や体調不良等で家事援助が必要になった場合などで必要な方にサービスが提供できるよう、民生委員、町内会、介護事業所等へ制度の周知徹底を行います。



#### 【事業実績】

##### ■ 自立支援指導員派遣事業利用状況

|      | 平成 2 6 年度 | 平成 2 7 年度 | 平成 2 8 年度 |
|------|-----------|-----------|-----------|
| 利用者数 | 5 人       | 0 人       | 0 人       |
| 利用日数 | 1 8 時間    | 0 時間      | 0 時間      |

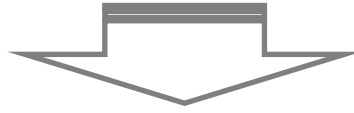
#### 【課題等】

- 平成 28 年 3 月 1 日に移行した「滝川市介護予防・日常生活支援総合事業」において実施している「滝川市訪問介護相当サービス事業」により本事業の代替が可能となったことから、平成 29 年 4 月より事業廃止した。

### 一般介護予防事業評価事業（第 6 期計画 P 29）

#### 【計画内容】

- 地域の実情に応じた効果的かつ効率的な介護予防の取組を推進するため、定期的に介護予防の取組状況等に関する評価を実施します。



### 【事業実績】

#### ○平成 28 年度総合事業の事業評価

総合事業移行後の平成 28 年度における総合事業の実施状況について、平成 29 年度において事業評価を行う。

評価は、次の 3 段階の評価指標により実施する。

- |                                             |
|---------------------------------------------|
| ①ストラクチャー指標：事業を効果的かつ効率的に実施するための実施体制等に関する指標   |
| ②プロセス指標：事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等に関する指標 |
| ③アウトカム指標：事業成果の目標に関する指標                      |

### 地域リハビリテーション活動支援事業（第 6 期計画 P 29）

### 【計画内容】

○脳卒中や骨折などの急性期や回復期、閉じこもりや虚弱など高齢者の状態に合わせた自立支援、介護予防を強化するため、医療機関のリハビリ専門職との連携などリハビリ専門職の体制を強化し、リハビリ専門職が関与する下記の取組を推進し、介護サービスからの卒業や自立を支援します。

#### ア 地域ケア会議やサービス担当者会議への関与

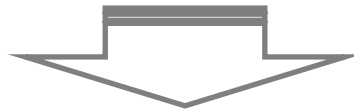
地域ケア会議やサービス担当者会議に参加し、日常生活に支障のある生活行為の要因、改善方法など介護予防ケアマネジメントに対するアドバイスを行います。

#### イ 住民運営の通いの場への関与

住民主体の百歳体操会場を訪問し、運動法や認知症予防の指導、世話役に対する指導などを行い、要介護状態になっても参加し続けることのできる通いの場づくりを支援します。

#### ウ 通所や訪問

介護事業所などからの依頼や相談により高齢者世帯への家庭訪問を行い、本人・家族・関係介護職などに対し、生活改善のための運動プログラムの提案、動きやすい住環境の調整などの助言等を行います。



### 【事業実績】

#### ■滝川市リハビリ専門職の個別支援・事業所支援

|                       |                     | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
|-----------------------|---------------------|----------|----------|----------|
| 地域ケア会議やサービス担当者会議への関与  | 地域ケア会議              | 0 回      | 3 回      | 3 回      |
|                       | サービス担当者会議           | 2 回      | 2 回      | 12 回     |
| 住民運営の通いの場への関与（体力測定含む） | 運動方法や認知症メニュー指導・体力測定 | 18 会場    | 21 会場    | 23 会場    |

|             |                          |     |     |      |      |
|-------------|--------------------------|-----|-----|------|------|
| 通所や訪問等からの依頼 | 住宅改修・福祉用具など、自立支援に関する在宅支援 | 実人数 | 81人 | 82人  | 88人  |
|             |                          | 延人数 | 96件 | 118件 | 138件 |
|             | 事業所等から個別の自立支援に関する相談      |     | 4回  | 11回  | 9回   |
|             | 職員対象研修                   |     | 2回  | 5回   | 4回   |

#### ■ リハ職ネットワーク会議

|                     |      | 平成27年度 | 平成28年度 |
|---------------------|------|--------|--------|
| 施設視察<br>(医療介護連携の視察) | 回数   | 2回     | 4回     |
|                     | 参加人数 | 29人    | 24人    |
| 情報交換会               | 回数   |        | 1回     |
|                     | 参加人数 |        | 35人    |

- ・ 目的－リハビリテーション専門職内の医療介護連携
- ・ 施設視察 平成27年度 土筆（通所介護・グループホーム・サ高住）：7月  
すずかけ・緑寿園：11月  
平成28年度 ①いきいき百歳体操・見晴デイサービス：5月、6月  
②特化型デイサービス（2か所）：10月、11月
- ・ リハ職ネットワーク会議情報交換会  
日時：平成28年6月17日  
内容：①リハ職ネットワーク会議の目的と滝川市の高齢者の状況  
②介護保険利用の申込からサービス利用まで  
③介護保険におけるリハビリテーション  
(デイサービスセンターこうよう・老人保健施設ナイスケアすずかけ)

#### 【課題等】

- 地域ケア会議やサービス担当者会議への関与、住民運営の通いの場への関与、市内の通所介護・訪問介護事業所などからの依頼や相談による高齢者世帯への家庭訪問の実施など、今後の高齢者数の増加に伴い、自立支援・重症化予防に対応する支援に対して、リハビリテーション専門職の役割が重要と考えられることから、作業療法士等の確保やさらなる事業の充実を要する。

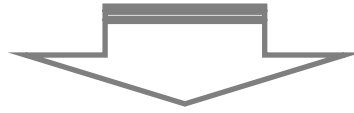
### 障がい者等歯科保健医療サービス推進事業（第6期計画P29）

#### 【事業概要】

- 心身に障がいがあり、歯科治療や歯科指導を受けることが困難な方に対し、口腔機能の維持・向上を図るため、介護サービス事業所や介護支援専門員（ケアマネジャー）との連携、滝川市歯科医会の協力のもと、口腔状況や生活状況などの実態調査、口腔衛生指導、歯科検診を実施しています。

#### 【計画内容】

- 今後も介護サービス事業所や介護支援専門員（ケアマネジャー）と連携し、滝川市歯科医会の協力を得ながら訪問口腔衛生指導等を継続するとともに、口腔ケアへの理解を深めてもらうため、より一層の普及啓発に努めます。



### 【事業実績】

■訪問実態調査：ご家族、ケアマネジャー等からの依頼で随時実施した。

歯科衛生士が口腔状況、生活状況等を把握

|       | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
|-------|----------|----------|----------|
| 実態調査数 | 30 人     | 24 人     | 40 人     |

■訪問口腔衛生指導：訪問実態調査の状況で、実態に応じて随時実施した。

歯科衛生士が口腔ケア等を実施

|     | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
|-----|----------|----------|----------|
| 指導数 | 177 人    | 202 人    | 181 人    |

■訪問歯科検診：訪問実態調査の結果、必要者に対して行う。

平成 26 年度～平成 28 年度は実施対象なし

### 【課題等】

- 医療現場から地域に戻られ在宅療養となった場合、歯科領域については福祉や介護関係者、家族との連携がとられておらず、適切な口腔ケアが行われていない。
- 認知症患者の依頼が増加していることから、初期のうちに口腔内状況を確認し、歯科医療との連携、口腔ケア、口腔リハビリを取り組む体制の確立を要する。
- 「痰がからむ・むせやすい」といった口腔・嚥下機能の低下からくる問題も増えてきている。オーラルフレイルを防ぎ、肺炎や低栄養を予防することも重要。

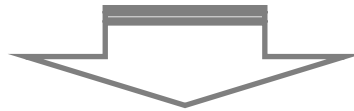
## 生活習慣病予防・介護予防に関する健康教育（第 6 期計画 P 30）

### 【事業概要】

- 生活習慣病や要介護状態等の予防、健康づくりの知識の普及を図るため、青壮年期からの健康の保持・増進を目的として、各種健康教育事業を実施しています。

### 【計画内容】

- 特に青壮年期の生活習慣の改善が将来の介護予防へとつながっていくため、生活習慣病予防講座や企業への健康教育を増やし、青壮年期の健康意識の普及啓発を行います。



### 【事業実績】

■ヘルシーエクササイズ実施状況

運動習慣の定着と健康増進に取り組む機会とするために、簡単なストレッチや筋力運動を行った。

|          | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
|----------|----------|----------|----------|
| 回数       | 46回      | 45回      | 44回      |
| 延人数      | 2,836人   | 2,743人   | 2,868人   |
| 65歳以上参加率 | 94.68%   | 95.47%   | 97.73%   |

■ その他依頼による健康教室実施状況

企業や地域のグループから健康に関する講話の依頼を受けて実施した。

|       | 平成 2 6 年度 | 平成 2 7 年度 | 平成 2 8 年度 |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 開催回数  | 10回       | 7回        | 12回       |
| 延参加者数 | 489人      | 267人      | 308人      |

【課題等】

- 企業への健康教育について周知を実施した結果、同企業から毎年継続して健康教育の依頼を受けるようになったが、参加者数は増減を繰り返している。青壮年期の生活習慣の改善が将来の介護予防へとつながっていくため、健康教育や企業向け健康教室の周知を継続するとともに、健康教室に合わせて健康づくりに関する事業（健康講座やがん検診、健康づくりに関する事業等）の周知を実施していく。

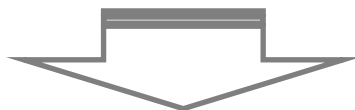
**生活習慣病予防・介護予防のための訪問指導（第6期計画P30）**

【事業概要】

- 健康相談や健康診査などにより発見された療養上の保健指導が必要な高齢者やその家族を訪問し、健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、心身機能の低下防止と健康の保持・増進を図っています。

【計画内容】

- 生活習慣病の予防を中心に個々の生活環境に応じた生活習慣の改善や日常生活の工夫とともに、他の保健・医療・福祉サービスや地域の社会資源の活用などを指導し、健康の保持・増進、介護予防や生活の質の向上を図ります。



【事業実績】

■ 要指導件数（保健指導・重複多受診など）

|        | 平成 2 6 年度 | 平成 2 7 年度 | 平成 2 8 年度 |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 40～64歳 | 46件       | 22件       | 54件       |
| 65～69歳 | 28件       | 35件       | 75件       |
| 70歳以上  | 21件       | 24件       | 93件       |
| 計      | 95件       | 81件       | 222件      |

【課題等】

- 生活習慣について、食習慣の偏りや運動習慣不足に課題をもつ者が多い。生活習慣病を予防することで、将来的な介護予防につながるため訪問指導を継続して実施していく。
- 特定保健指導対象者に対しては、未利用者への利用勧奨や生活習慣改善に向けた支援に取り組む。
- 特定保健指導から除外されるメタボ非該当者に対し、生活習慣を見直す機会として訪問し、生活習慣病予防と、将来的な重症化予防につなげていく。
- 国保重複多受診者訪問を実施し、受診行動の問題点の把握、適正な医療の呼び掛けを継続する。



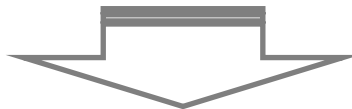
## 独居老人友愛訪問サービス事業（第6期計画P31）

### 【事業概要】

○65歳以上の高齢者単身世帯の希望世帯に対し、乳酸菌飲料を配達し、安否確認を行っています。

### 【計画内容】

○乳酸菌飲料を配達する訪問員が安否確認し、必要に応じて話し相手となることにより、不安感の解消や異変を感じ取ることが可能となるなど有効な事業であり、今後さらに高齢者単身世帯の増加が見込まれることから、事業者の協力を得て事業を継続します。



### 【事業実績】

○次のとおり独居老人友愛訪問サービス事業を実施した。

|       | 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度  |
|-------|---------|---------|---------|
| 利用世帯数 | 150世帯   | 156世帯   | 145世帯   |
| 延実施回数 | 34,654回 | 33,216回 | 28,670回 |

### 【課題等】

○乳酸菌飲料を配達し安否確認を行うのが目的だが、単に乳酸菌飲料を配達してくれるサービスと勘違いしている利用者がいることから、改めて事業の目的等について理解を図る。

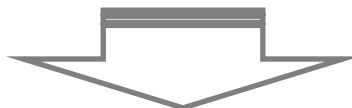
## 食の自立支援事業（配食サービス）（第6期計画P31）

### 【事業概要】

○65歳以上の高齢者世帯の希望世帯に対し、夕食を配達し、安否確認とともに栄養改善を図っています。

### 【計画内容】

○食生活の改善が必要な高齢者に対して、定期的に居宅を訪問し安否確認とともに、栄養バランスの取れた食事を提供できる有効な事業であり、今後も事業を継続します。



### 【事業実績】

○次のとおり独居老人友愛訪問サービス事業を実施した。

|       | 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度  |
|-------|---------|---------|---------|
| 利用世帯数 | 118人    | 105人    | 103人    |
| 延実施回数 | 13,988食 | 11,699食 | 11,909食 |

### 【課題等】

○利用世帯数が減少しつつあるものの、栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、

安否確認もできるため引き続き事業のPRに努める。

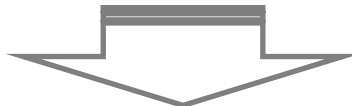
## 福祉除雪ヘルパーサービス事業（第6期計画P32）

### 【事業概要】

- 冬期間の在宅生活を安心して過ごせるように、自宅から300m以内に扶養親族のいない65歳以上の高齢者単身世帯、高齢者夫婦世帯（どちらかが60歳以上は可）、重度身体障がい者世帯の希望世帯に対し、福祉除雪ヘルパー事業者を派遣し、概ね10cm以上の降雪時に玄関前及び通路部分を1m幅で除雪を行っています。（市内に扶養親族がいない対象世帯に対しては、年1回、窓・ベランダ・屋根の除雪も実施可能）
- また、除雪活動が困難な高齢者世帯等に対し町内会等の地域団体が行う除雪活動を支援するため、希望する地域団体に小型除雪機を無償で貸与する「コミュニティ除雪事業」を実施しています。（1シーズン6団体以内）

### 【計画内容】

- 冬期間の在宅生活を安心して過ごせるよう継続して実施し、積極的なPRに努めます。



### 【事業実績】

#### ■福祉除雪ヘルパーサービスの利用状況

|       | 平成26年度 | 平成27年度  | 平成28年度 |
|-------|--------|---------|--------|
| 利用世帯数 | 383世帯  | 397世帯   | 383世帯  |
| 延実施回数 | 9,528回 | 13,353回 | 8,735回 |

#### ■コミュニティ除雪事業貸与団体数

|       | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|-------|--------|--------|--------|
| 貸与団体数 | 3団体    | 2団体    | 2団体    |

### 【課題等】

- 間口を広く除雪して欲しい等の要望があるが、限られた時間の中で、最低限度の除雪を実施しなければならず、福祉除雪サービスでの対応では困難な状況にあるためご理解をいただいているところである。

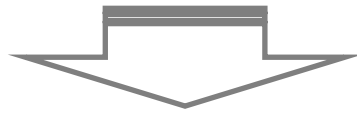
## 緊急通報システム整備事業（第6期計画P32）

### 【事業概要】

- 身体が虚弱な65歳以上の高齢者世帯又は高齢者夫婦世帯（どちらかが60歳以上は可）の希望世帯に対し、本体機器の押しボタンや身に付けたペンダントを押すだけで消防署に通報するシステムを貸与しています。

### 【計画内容】

- 虚弱な高齢者が万一に備え、在宅生活を安心して過ごせるようサービスを継続して実施し、さらに積極的なPRに努めます。



## 【事業実績】

### ■システム設置状況

|         | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
|---------|----------|----------|----------|
| 延貸与者数   | 2, 101 人 | 2, 147 人 | 2, 141 人 |
| 月平均貸与者数 | 175 人    | 178 人    | 178 人    |

### ■システム通報状況

(単位：件)

| 年度  | 救急<br>出動 | 火災<br>出動 | その他<br>出動 | 誤報 | 電話<br>処理 | 機器<br>異常 | 停電 | テスト | 相談 | 合 計 |
|-----|----------|----------|-----------|----|----------|----------|----|-----|----|-----|
| H26 | 27       | 0        | 3         | 18 | 2        | 0        | 0  | 0   | 0  | 50  |
| H27 | 27       | 0        | 1         | 30 | 0        | 0        | 0  | 0   | 0  | 58  |
| H28 | 16       | 0        | 0         | 37 | 0        | 0        | 0  | 0   | 1  | 54  |

## 【課題等】

○虚弱な高齢者が万一に備え、在宅生活を安心して過ごせるようさらに積極的なPRを要する。

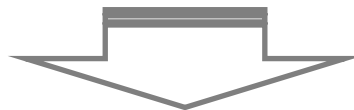
## 救急医療情報キット配付事業（第6期計画P33）

## 【事業概要】

○65歳以上の高齢者単身世帯又は75歳以上の高齢者世帯の希望世帯に対し、万一の救急時に備え冷蔵庫に貼りつける、かかりつけの病院や持病、服薬内容、緊急連絡先などの情報を記入する用紙と専用のケースからなる救急医療情報キットを配付しています。

## 【計画内容】

○社会福祉協議会や町内会、民生委員、介護事業所と連携し、新たに対象となる方への配付、高齢者世帯の設置状況の確認、既に配付している方の情報更新の徹底に努めます。



## 【事業実績】

### ■救急医療情報キットの配付状況

|       | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 |
|-------|----------|----------|----------|
| 配付世帯数 | 39 世帯    | 22 世帯    | 18 世帯    |

## 【課題等】

○社会福祉協議会や町内会、民生委員、介護事業所と連携し、新たに対象となる方へ事業をPRし、配付を促進していくほか、既に配付している方の情報更新の徹底を要する。

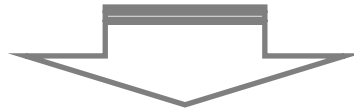
## 老人福祉電話貸与事業（第6期計画P33）

### 【事業概要】

○緊急時の連絡手段を確保するため、65 歳以上の高齢者単身世帯又は高齢者世帯(どちらかが 60 歳以上は可)の希望世帯に対し、電話加入権を貸与しています。

### 【計画内容】

○携帯電話の普及により新規利用者は見込めませんが、緊急時の連絡手段の確保のため、事業を継続します。



### 【事業実績】

#### ■老人福祉電話の利用状況

|         | 平成 2 6 年度 | 平成 2 7 年度 | 平成 2 8 年度 |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 延利用者数   | 9 6 人     | 8 5 人     | 7 2 人     |
| 月平均貸与者数 | 8 人       | 7 人       | 6 人       |

### 【課題等】

- 携帯電話の普及により新規利用者も見込めないため、将来的な事業の廃止について検討を要する。
- 既利用者の家族や友人との交流手段、緊急時の連絡手段として必要なため事業を継続しつつも、貸与者への必要性の有無についての調査を要する。

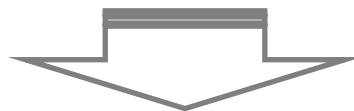
## 敬老特別乗車証事業（第 6 期計画 P 34）

### 【事業概要】

○高齢者の外出機会拡大や交通弱者支援等を目的として、75 歳以上の高齢者の希望者に対し、北海道中央バス、空知中央バスの市内路線の乗車料金が 100 円で乗車できるパスを交付しています。

### 【計画内容】

○敬老特別乗車証の利用実態把握に努めるとともに、高齢者が住み慣れた地域で安心して在宅生活を維持できるように事業を継続します。また、高齢者の外出支援策について引き続き検討していきます。



### 【事業実績】

○利用状況（平成 26 年実態調査による推計）

|        | 平成 2 6 年度      | 平成 2 7 年度      | 平成 2 8 年度      |
|--------|----------------|----------------|----------------|
| 交付対象者数 | 6, 5 3 2 人     | 6, 5 7 0 人     | 6, 4 7 6 人     |
| 延べ利用回数 | 1 8 1, 5 8 4 回 | 1 8 5, 4 7 0 回 | 1 6 2, 6 1 4 回 |

### 【課題等】

○平成 2 9 年度から平成 3 0 年度にかけて利用実態調査を実施し、事業費その他の検討を要する。

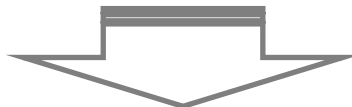
## 老人特定目的住宅安否確認事業（第6期計画P34）

### 【事業概要】

○老人特定目的住宅の見晴団地に入居している高齢者世帯に対し、朝夕の安否確認や緊急時の対応のサービスを提供しています。

### 【計画内容】

○安心して生活が送れるよう事業を継続します。



### 【事業実績】

#### ■安否確認実施状況

|       | 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度  |
|-------|---------|---------|---------|
| 延件数   | 524件    | 518件    | 531件    |
| 延確認回数 | 24,213回 | 24,798回 | 24,570回 |

### 【課題等】

○入居率が比較的高く、事業の目的を達成している状況にあるため、引き続き事業を継続していく。

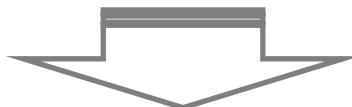
## はいかい高齢者等位置探索システム助成事業（第6期計画P34）

### 【事業概要】

○65歳以上ではいかいの心配のある高齢者又は介護者が安心して生活が送れるように、位置を確認するためのシステムに係る初期費用の一部を助成しています。

### 【計画内容】

○安心して生活が送れるようサービスを継続して実施し、さらに積極的なPRに努めます。



### 【事業実績】

#### ■助成利用状況

|      | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|------|--------|--------|--------|
| 利用者数 | 3人     | 1人     | 1人     |

### 【課題等】

○定期的に充電し、本人に持たせる必要があるため、なかなか利用につながらない場合が多いことから、それぞれの状態にあった機種を紹介できるよう、新たな機種についての情報収集を要する。

○発信機タイプの物だけでなく、GPS機能を有する携帯電話を新規契約する場合においても申請対象となり得ることや、SOSネットワーク登録で来所した家族、関係者に対してなどさらなるPRを要する。

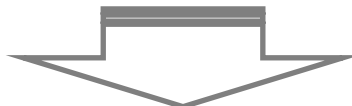
## 自立支援用具購入費等給付事業（第6期計画P35）

### 【事業概要】

○要介護認定の結果が「非該当」と判定された方のうち、転倒の危険性が高い方が福祉用具の購入や住宅改修を行う場合に、総費用額の7割（上限5万円）を給付しています。

### 【計画内容】

○安心して生活が送れるよう事業を継続します。



### 【事業実績】

#### ■利用状況

|      | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|------|--------|--------|--------|
| 利用件数 | 0件     | 2件     | 1件     |

### 【課題等】

○事業所等へは概ね周知されているが、非該当となった方への直接的な周知がされていないことから、非該当者（事業対象者）への直接的な事業のPR（結果通知と併せて周知する等）を要する。

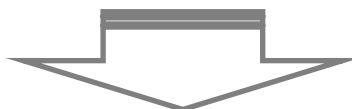
## 一時帰宅支援費給付事業（第6期計画P35）

### 【事業概要】

○介護保険施設に入所又は医療機関に入院している要介護認定者等が在宅復帰に向けて外泊する際に、年間10万円を上限に福祉用具や医療用具の貸与、訪問介護の給付を行っています。

### 【計画内容】

○安心して生活が送れるよう事業を継続します。



### 【事業実績】

#### ■利用状況

|      | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|------|--------|--------|--------|
| 利用件数 | 2件     | 0件     | 5件     |

### 【課題等】

○事業者や病院と連携を強化するとともに、さらに積極的なPRに努めます。

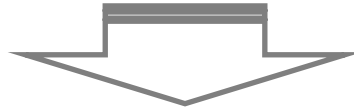
## 家族介護者のつどい（第6期計画P35）

### 【事業概要】

○介護者の心身のリフレッシュを図り、介護負担の軽減に繋がるよう、年間3回程度、「認知症の人と共に歩む家族の会 あけぼの会」などと連携し、介護者を対象にした「家族介護者のつどい」を開催しています。

#### 【計画内容】

○参加者の拡大に向けて、「認知症の人と共に歩む家族の会 あけぼの会」など関係団体と連携し、介護者の意向も踏まえ、内容の充実に努めます。



#### 【事業実績】

##### ■家族介護者のつどいへの参加状況

|       | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|-------|--------|--------|--------|
| 開催回数  | 2回     | 2回     | 2回     |
| 延参加者数 | 70人    | 53人    | 59人    |

※施設見学とあけぼの会との合同開催研修を実施しました。

○平成28年度居宅介護支援事業所の介護支援専門員にアンケートを実施し、居宅生活を継続するための必要支援を確認したところ、一番多かったのが家族介護者の支援でした。認知症等のため、ご本人が必要な介護サービスや受診を拒否されたり、自分勝手な行動に対するご家族への指導対応に悩まれていました。

そこで、平成29年度から「介護者のつどい」を「介護者サロン」として実施しました。

「介護者サロン」は家庭で認知症等の要介護者を介護している家族に対して、介護に関する知識の提供及び介護者同士が交流することで、心身のリフレッシュ、介護者の疲れの軽減、介護の悩みの軽減を図ることを目的としています。

年間5回ふれ愛の里で実施し、送迎・託老を行います。

#### 【課題等】

○介護サービスを利用していない介護者や相談することができない介護者へのPR方法や参加しやすいサロンの内容など検討を要する。

○疾患や家族の属性（男性、娘等）等対象に応じた設定の検討を要する。

○「認知症の人と共に歩む家族の会（あけぼの会）」と合同開催していたが、家族会も高齢化しており、今後後継者としての協力者が必要となってくることから、家族会に代わる協力者として、オレンジ倶楽部の人員確保と育成を要する。

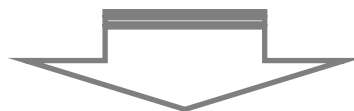
### 家族介護用品支給事業（第6期計画P36）

#### 【事業概要】

○市内に住所を有し、現に居住する要介護度3以上の認定を受けた排尿、排便全介助の要介護者を在宅で介護し、事業の利用を希望する家族等に対し、1枚1,000円相当額のおむつ用品の購入券を年間60枚交付し、経済的負担の軽減を図り在宅での介護を支援しています。

#### 【計画内容】

○在宅生活を安心して過ごせるよう継続して実施し、積極的なPRに努めます。

**【事業実績】****■利用状況**

|      | 平成 2 6 年度   | 平成 2 7 年度 | 平成 2 8 年度 |
|------|-------------|-----------|-----------|
| 受給者数 | 32 人        | 26 人      | 17 人      |
| 利用枚数 | 1,128 枚     | 878 枚     | 814 枚     |
| 助成額  | 1,128,000 円 | 878,000 円 | 814,000 円 |

**【課題等】**

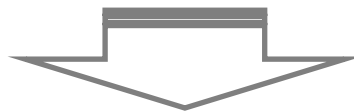
- 要介護者を在宅で介護する家族等に対し経済的負担の軽減を図り在宅での介護を支援するため、さらに積極的な P R を要する。
- 事業内容の見直し・事業の必要性の検討を要する。

**リフト付きタクシー等利用料助成事業（第 6 期計画 P 36）****【事業概要】**

- 市内に住所を有し、要介護度 3 以上の認定を受けた寝たきり又は歩行困難な方でストレッチャーや車いすによる移動を必要とする、事業の利用を希望する方に対し、リフト付きタクシー等を利用して医療機関へ通院する際の利用料金の支払いができる助成券を年間 30,000 円相当分交付し、経済的負担の軽減を図り在宅での介護を支援しています。

**【計画内容】**

- 在宅生活を安心して過ごせるよう継続して実施し、積極的な P R に努めます。

**【事業実績】****■利用状況**

|      | 平成 2 6 年度      | 平成 2 7 年度    | 平成 2 8 年度    |
|------|----------------|--------------|--------------|
| 受給者数 | 51 人           | 39 人         | 22 人         |
| 利用枚数 | 100 円券×1,343 枚 | 100 円券×961 枚 | 100 円券×551 枚 |
|      | 500 円券× 503 枚  | 500 円券×423 枚 | 500 円券×223 枚 |
| 助成額  | 385,800 円      | 307,600 円    | 166,600 円    |

**【課題等】**

- 要介護者に対し経済的負担の軽減を図り在宅での生活を支援するため、さらに積極的な P R を要する。
- 事業内容の見直し・事業の必要性の検討を要する。